

令和3年度
事業報告書

社会福祉法人 小城市社会福祉協議会

目 次

経理区分	No.	事業名	ページ
法人運営事業	1	理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催	1
	2	社協会費	2
	3	一般寄付金・香典返し寄付金の受付	3
	4	社協広報誌「社協だより(絆)」の発行	4
	5	日本赤十字社事務の協力	5
	6	赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金	6
地域福祉活動事業	7	民生委員児童委員連絡協議会への支援	7
	8	児童遊園地施設整備(新設・補修・撤去)助成	8
	9	新生児祝い品贈呈事業	9
	10	地域ふれあいサロン事業(各地区公民館で自主運営)	10～11
	11	弁護士無料法律相談の開設	12
	12	福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)	13
	13	ボランティアセンター事業	14～16
	14	学校ボランティア育成事業	17～18
	15	福祉教育推進事業	19～21
	16	支えあいセンター事業	22～23
福祉資金貸付事業	17	生活福祉資金貸付事業	24
	18	福祉資金貸付事業	25
小城市受託事業	19	軽度生活支援事業及び地域生活応援業務	26
	20	生きがい活動支援通所事業(南部生きがいデイサービス)	27
	21	障害者移送サービス事業	28～29
	22	愛の一声運動推進事業	30
	23	高齢者ふれあいサロン事業	31～32
	24	子育て相互支援事業	33～34
	25	地域子育て支援拠点事業	35
	26	小城保健福祉センター「桜楽館」の管理・経営	36
	27	芦刈保健福祉センター「ひまわり」の管理・経営	37
	28	高齢者生きがいづくり講座事業	38～39
	29	小城・多久障害者相談支援事業	40～41
	30	生活困窮者自立相談支援事業(生活自立支援センター)	42
中部広域連合受託事業	31	南部地域包括支援センター事業(おたっしや本舗小城南)	43～45
介護保険事業	32	居宅介護支援事業	46

法人運営事業

(P 1 ~ P 6)

令和3年度 事業報告

事業名	理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催		
期 日	年間 理事会4回、評議員会1回、評議員選任・解任委員会1回		
場 所	小城保健福祉センター「桜楽館」研修室		
参 加 者	理事、監事、評議員、 評議員選任・解任委員	担当者	事務局長、課長、係長、総務係
目 的	事業計画や予算など、本会の重要な方針を決定する。		
実施内容	<p>◆理事会</p> <p>①令和3年5月28日(金) (理事9人、監事2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長執務状況報告 ・評議員会の招集 ・役員候補者の選定 ・評議員候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会の招集 ・臨時職員就業規則の一部改正 ・令和2年度事業報告及び一般会計決算報告 <p>②令和3年6月14日(月) (理事10人、監事2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長及び副会長の選定 <p>③令和3年12月17日(金) (理事9人、監事2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給与規程の一部改正 ・令和2年度一般会計第1次補正予算 <p>④令和4年3月23日(水) (理事9人、監事2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長職務執行状況報告 ・役員等賠償責任保険の契約 ・介護休業等に関する規程の一部改正 ・職員就業規則の一部改正 ・給与規程の一部改正 ・事務局に関する規程の一部改正 ・一般会計第2次補正予算 ・令和4年度事業計画及び一般会計予算 <p>◆定時評議員会</p> <p>①令和3年6月14日(月) (評議員 15人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事・監事の選任 ・令和2年度事業報告及び一般会計決算報告 <p>◆評議員選任・解任委員会</p> <p>①令和3年6月14日(金) (委員5人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任 		
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は会長、副会長の任期満了に伴う選定を行った。 ・働き方改革関連法に合わせ就業規則や給与規程などの見直しを行った。 ・令和4年4月1日より段階的に施行される出生時育児休業制度について、先行して規定の見直しを行った。 		

令和3年度 事業報告

事業名	社協会費																							
期 日	普通会費(5月)、団体・賛助会費(通年)																							
依 頼 先	小城市内全区長																							
対 象	市内全世帯	担当者	総務係、各支所担当																					
実施内容	<p>1. 目 的 本会の事業推進に貴重な財源を「社協会員」である地域の皆様に納入していただき、社会福祉事業に参加していただく。</p> <p>2. 内 容 ・市内181行政区の区長へ依頼 ・一世帯あたり400円の戸別会費のお願いをする。 ・社協会費は、児童福祉・高齢者福祉・ボランティア活動支援・地域福祉サービス等に活用する。</p> <p>3. 実 績</p> <p style="text-align: center;">【普通会員会費】 一世帯400円</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">世帯数</th> <th style="width: 35%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小城町</td> <td>4,180世帯</td> <td>1,672,000円</td> </tr> <tr> <td>三日月町</td> <td>3,606世帯</td> <td>1,442,400円</td> </tr> <tr> <td>牛津町</td> <td>2,860世帯</td> <td>1,144,000円</td> </tr> <tr> <td>芦刈町</td> <td>1,621世帯</td> <td>648,400円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度 合計</td> <td>12,267世帯</td> <td>4,906,800円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>令和2年度 合計</td> <td>12,282世帯</td> <td>4,913,100円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">【賛助会費】一口1,000円(企業・団体へ依頼) 令和3年度 182,000円(30件) 令和2年度 184,000円(30件)</p> <p style="margin-left: 20px;">【団体会費】一口1,000円(市内の福祉団体へ依頼) 令和3年度 62,000円(13団体) 令和2年度 62,000円(13団体)</p>				世帯数	金 額	小城町	4,180世帯	1,672,000円	三日月町	3,606世帯	1,442,400円	牛津町	2,860世帯	1,144,000円	芦刈町	1,621世帯	648,400円	令和3年度 合計	12,267世帯	4,906,800円	令和2年度 合計	12,282世帯	4,913,100円
	世帯数	金 額																						
小城町	4,180世帯	1,672,000円																						
三日月町	3,606世帯	1,442,400円																						
牛津町	2,860世帯	1,144,000円																						
芦刈町	1,621世帯	648,400円																						
令和3年度 合計	12,267世帯	4,906,800円																						
令和2年度 合計	12,282世帯	4,913,100円																						
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月22日(木)午後よりに行われた区長会議において、納入依頼をした。 ・ 会費用途を社協だよりやホームページで報告し、市民の皆様に地域福祉活動へ理解と協力を求めていく。 																							

令和3年度 事業報告

事業名	一般寄付金・香典返し寄付金の受付																				
期 日	通年																				
対 象	市内全域	担当者	総務係、各支所担当																		
実施内容	<p>1. 目 的 本会の福祉事業を推進する上で貴重な財源となっているので、本所・各支所で受付を行っている。</p> <p>2. 内 容 香典返し寄付金及び一般寄付金の受付</p> <p>3. 実 績</p> <p>【香典返し寄付金】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-bottom: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度</td> <td style="text-align: center;">207件</td> <td style="text-align: right;">3,409,460円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和2年度</td> <td style="text-align: center;">214件</td> <td style="text-align: right;">4,118,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">対前年比較</td> <td style="text-align: center;">7件の減</td> <td style="text-align: right;">708,540円の減額</td> </tr> </table> <p>【一般寄付金】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度</td> <td style="text-align: center;">9件</td> <td style="text-align: right;">224,130円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和2年度</td> <td style="text-align: center;">5件</td> <td style="text-align: right;">92,338円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">対前年比較</td> <td style="text-align: center;">4件の増</td> <td style="text-align: right;">131,792円の増</td> </tr> </table> <p>【香典返し寄付金へ弔慰品】 線香セット 令和3年度 延182個 令和2年度 延195個</p>			令和3年度	207件	3,409,460円	令和2年度	214件	4,118,000円	対前年比較	7件の減	708,540円の減額	令和3年度	9件	224,130円	令和2年度	5件	92,338円	対前年比較	4件の増	131,792円の増
令和3年度	207件	3,409,460円																			
令和2年度	214件	4,118,000円																			
対前年比較	7件の減	708,540円の減額																			
令和3年度	9件	224,130円																			
令和2年度	5件	92,338円																			
対前年比較	4件の増	131,792円の増																			
特記事項 (課題等)	香典返しの寄付件数及び寄付額は減少している。今後も地域福祉活動を行う上で貴重な財源なので、協力をお願いしていく。																				

令和3年度 事業報告

事業名	社協広報誌「社協だより（絆）」の発行						
発行	年6回（奇数月）						
依頼先	市内全区長						
配布先	市内全戸、広告掲載事業所	担当者	広報委員、総務係				
地域福祉活動計画	基本目標 住民主体の地域づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発及び福祉教育の推進						
実施内容	<p>1. 目的</p> <p style="padding-left: 20px;">広報誌で市民・諸団体・地域の取組み事例などを紹介し、市民へ地域福祉活動の理解を深めてもらう。</p> <p>2. 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年6回（奇数月）発行。区長文書発送にて、市内全戸へ配布。 ・社協事業、取組み事例、ボランティア情報、イベント情報等を掲載。 ・赤い羽根共同募金 PR のため、印刷代の一部を配分金で行った。 <p>3. 発行日（年6回）</p> <p style="padding-left: 20px;">5月20日・7月20日・9月20日・11月19日・1月20日 3月18日</p> <p>4. 発行部数</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">5・7・9・11・1月号</td> <td style="padding-left: 20px;">各16,200部</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">3月号</td> <td style="padding-left: 20px;">各16,300部</td> </tr> </table> <p>5. 広告費収入</p> <p style="padding-left: 20px;">45,000円×年6回＝270,000円</p> <p style="padding-left: 20px;">5,000円×年4回＝ 20,000円</p> <p style="padding-left: 40px;">市内の福祉施設・医療機関・行政書士の広告を掲載。</p>			5・7・9・11・1月号	各16,200部	3月号	各16,300部
5・7・9・11・1月号	各16,200部						
3月号	各16,300部						
特記事項 （課題等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにも社協だよりを掲載し福祉情報を発信した。 ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、事業の中止や一時的な中断があったので、活動報告以外にも新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮世帯に対する生活福祉資金（緊急小口資金・総合支援資金）の特例貸付や住宅確保給付金の記事などを掲載した。 <p>これからも、市民の皆様へ福祉情報の提供を行い、社協活動の啓発を行っていく。</p>						

令和3年度 事業報告

事業名	日本赤十字社事務の協力											
期 間	会費募集期間 5月											
依 頼 先	小城市内全区長											
対 象 者	市内全世帯	担当者	総務係、各支所担当									
地域福祉活動計画	基本目標 住民主体の地域づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発及び福祉教育の推進											
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>日本赤十字社は、国の内外において災害や紛争などによる被災者や難民を救援するため、医療救護班の派遣や資金・物資の提供など人道的事業の活動を行っている。これらの事業を実施するために日赤会費納入の協力を行う。</p> <p>2. 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内181の行政区の区長へ依頼。 ・一世帯あたり600円の日赤会費のお願いをする。 <p>3. 日赤会費実績</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>令和3年度</td> <td>7,133,400円</td> <td>11,889世帯</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>7,089,050円</td> <td>11,814世帯</td> </tr> <tr> <td>比 較</td> <td>44,350円の増</td> <td>75世帯の増</td> </tr> </table> <p>4. 災害・火災見舞金品の贈呈（火災1件 1棟全焼）</p> <p>救急セット 1組 毛 布 2枚 バスタオル 2枚 日赤県支部より火災見舞 全焼10,000円</p>			令和3年度	7,133,400円	11,889世帯	令和2年度	7,089,050円	11,814世帯	比 較	44,350円の増	75世帯の増
令和3年度	7,133,400円	11,889世帯										
令和2年度	7,089,050円	11,814世帯										
比 較	44,350円の増	75世帯の増										
特記事項 (課題等)	・災害義援金受付窓口を設置中											

令和3年度 事業報告

事業名	赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金		
期 間	募金運動 10月～12月 配分事業:通年		
依 頼 先	戸別募金 小城市内全区長 法人・学校・職域・資材 市内全域		
対 象 者	市内全世帯	担当者	各支所、総務係、ボランティア担当
地域福祉活動計画	基本目標 住民主体の地域づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発福祉教育の推進		
実施内容	1. 実施内容		
	戸別募金	市内181の行政区の区長へ依頼。 一世帯あたり、赤い羽根共同募金 350円、 地域歳末たすけあい募金 100円をお願いする。	
	法人募金	新型コロナウイルス感染拡大予防のため、口座振込での納入を依頼した。	
	2. 募金実績		
	【赤い羽根共同募金】		
		令和3年度	令和2年度
	戸別募金	4,325,850円	4,272,400円
	法人募金	801,000円	870,596円
	資材・職域募金	576,812円	501,060円
	学校募金	189,052円	235,819円
	個人募金・利息他	48,301円	61,525円
	合 計	5,941,015円	5,941,400円
	※前年度より385円の減		
	【地域歳末たすけあい募金】		
		令和3年度	令和2年度
戸別募金	1,235,900円	1,220,500円	
個人・団体	38,955円	35,577円	
合 計	1,274,855円	1,256,077円	
※前年度より18,778円の増			
【地域歳末たすけあい募金 配分報告】			
市内全幼稚園・保育園へ遊具贈呈	684,221円		
地域ふれあいサロン助成金（21か所）	210,000円		
ふれあいサロン ゲーム購入	190,080円		
支えあいセンターボランティア活動用ベスト購入等	358,200円		
子育てサロン（絵本やおもちゃ、ベビーカーなど）	157,184円		
緊急かつ一時的支援のための食品備蓄	103,496円		
合 計	1,703,181円		
特記事項 (課題等)	・赤い羽根共同募金は、区長会、民生委員児童委員協議会、ボランティア協議会、各種団体などのご協力をいただいています。これからも、共同募金運動の必要性について、ご理解をいただけるよう周知を行っていく。		

地域福祉活動事業

(P 7 ~ P 2 3)

令和3年度 事業報告

事業名	民生委員児童委員連絡協議会への支援
期 日	通年
担当者	総務係 原、各支所民協担当
地域福祉 活動計画	基本目標 住民主体の地域づくり 基本施策 民生委員・児童委員の活動支援
実施内容	<p>1. 目 的 民生委員・児童委員92人（民生委員・児童委員84人、主任児童委員8人）相互の親睦を図り、民生委員信条に則り、地域福祉の健全な発展・向上に寄与する。</p> <p>2. 内 容 ①民生委員・児童委員の資質向上を図るための研修会等の実施 ②地域福祉に関係ある行政機関及び諸団体との連絡、提携及び協力 ③民生委員・児童委員相互の親睦、連携を図るための事業 ④一斉改選に伴う新任民生委員・児童委員、主任児童委員へ社協との関わりの説明やフォローアップ等 ⑤その他、目的達成のために必要な事業</p> <p>3. 活動内容 (1) 総会の開催 日時 4月16日（金） 10時～ 場所 小城保健福祉センター「桜楽館」研修室 ※新型コロナウイルス感染拡大予防のため役員のみで開催。</p> <p>(2) 役員会 第1回 6月3日（木） 小城保健福祉センター「桜楽館」 研修室 第2回 8月4日（水） " " 研修室 第3回 10月6日（水） 新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止 第4回 12月1日（水） 小城保健福祉センター「桜楽館」 研修室 第5回 2月2日（水） 新型コロナウイルス感染拡大予防のため延期 第6回 3月2日（水） 小城保健福祉センター「桜楽館」 研修室</p> <p>(3) 研修会等 総会後に開催していた研修会や心豊かな子どもを育てる運動合同研修会は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止した。 また、県内や県外で開催されていた研修会なども中止された。</p> <p>4. 各町単位民生委員児童委員協議会の運営 役員会、定例会などの実施</p>
特記事項 (課題等)	・新型コロナウイルス感染拡大予防のため全体研修会などが開催することができなかった。

令和3年度 事業報告

事業名	児童遊園地施設整備(新設・補修・撤去)助成															
期 日	通年															
場 所	小城市内全域															
担 当 者	地域福祉推進係 陣内															
地域福祉活動計画	基本目標 住民主体の地域づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発及び福祉教育の推進															
実施内容	<p>1. 目的 小城市内の区が管理する児童遊園地遊具の新設、補修及び撤去事業に対し、その経費の一部を助成することで児童の健全育成に寄与することを目的とする。</p> <p>2. 助成基準 ①新設する場合は、総事業費の3分の2で30万円を限度とする。 ②補修する場合は、総事業費の2分の1で 8万円を限度とする。 ③撤去する場合は、総事業費の2分の1で 5万円を限度とする。</p> <p>3. 実績(新設 1件、補修 2件、撤去 2件)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">区分</th> <th style="text-align: left;">助成地区</th> <th style="text-align: right;">助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新設</td> <td>芦刈町:住の江西</td> <td style="text-align: right;">300,000円</td> </tr> <tr> <td>補修</td> <td>三日月町:甘木 芦刈町:浜中</td> <td style="text-align: right;">121,000円</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>小城町:横町 芦刈町:舎人</td> <td style="text-align: right;">77,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">助成額計</td> <td style="text-align: right;">498,000円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	助成地区	助成額	新設	芦刈町:住の江西	300,000円	補修	三日月町:甘木 芦刈町:浜中	121,000円	撤去	小城町:横町 芦刈町:舎人	77,000円	助成額計		498,000円
区分	助成地区	助成額														
新設	芦刈町:住の江西	300,000円														
補修	三日月町:甘木 芦刈町:浜中	121,000円														
撤去	小城町:横町 芦刈町:舎人	77,000円														
助成額計		498,000円														
特記事項 (課題等)	<p>令和3年度は、遊具の状況確認を行い緊急性や危険性などを勘案し助成を行った。地区の子ども減少に伴い撤去の相談が増えている。</p> <p>今後も状況等を確認し、緊急性や危険性の高い地区を優先に助成を行う。</p>															

令和3年度 事業報告

事業名	新生児祝い品贈呈事業
期 日	通年
配布場所	小城市役所 西館 市民課窓口
担当者	地域福祉推進係 井上
地域福祉活動計画	基本目標 住民主体の地域づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発及び福祉教育の推進
実施内容	<p>1. 目 的 新生児の健全な育成と親子の絆づくりを目的とする。</p> <p>2. 内 容 出生届の提出の際に、読んで聞かせたい絵本を贈呈する。</p> <p>3. 対象者 新生児の保護者</p> <p>4. 主 催 小城市社会福祉協議会</p> <p>5. 配布数 370冊(令和2年度 300冊)</p>
特記事項 (課題等)	<p>親が絵本を読んであげることで、子どもの健全な発達を助長し、親子間でよりよいコミュニケーションが取れる。</p> <p>2人目、3人目の誕生時にも対応できるように5種類の絵本を取り揃え、好きな絵本を選ぶことが出来るようにしている。</p> <p>令和2年度までは、仕掛け絵本に人気が集まっていたが、令和3年度は平均して選ばれた。</p> <p>今後も喜ばれるお祝いにできるようにしていきたい。</p>

令和3年度 事業報告

事業名	地域ふれあいサロン事業(各地区公民館で自主運営)		
期 日	通年		
開催場所	小城市内各地区 公民館		
対象者	各地区(自治会高齢者)、老人会等	担当	ふれあいサロン係 野田・中原・嘉村・秋山
地域福祉 活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 暮らしやすい生活環境の整備と既存施設の有効活用		
実施内容	1. 目 的 各地区で、高齢者の通いの場(ふれあいサロン)をつくることで、住民同士のつながりと助け合い活動の普及をする。 2. 内 容 各地区の公民館へ出向き、健康・福祉の情報提供や住民同士の助け合い活動の必要性について認識してもらえるよう説明をする。 テーマ ・地域の交流について ・介護予防・認知症予防の体操・運動について		
活動概要	【活動内容】 ・各地区公民館へ出向き、介護予防・認知症予防や福祉・健康についての情報提供、レクリエーション活動、いきいき百歳体操の紹介などを行っている。 ・参加者から気がかり情報を聴き、関係機関と連携して支援をしている。 【効果】 ・介護予防・認知症予防について、専門的な情報を聞いたり効果的な体操をしたりといった早期に取り組むことの必要性が理解されてきている。 ・地区での住民同士の交流の場・通いの場づくりに対して取り組む意識が向上している。 ・ふれあいサロンへの参加が、介護予防・認知症予防・閉じこもり防止につながっていることが認識されている。 【課題】 ・ふれあいサロンの必要性は理解されても、自主的に運営を行っていく世話役(リーダー的存在)となる人が少なく、参加者の高齢化もあり、地区で主体的に取り組みやすい方法や考え方の支援・検討が必要だと思われる。 ・新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら活動を行う必要がある。		

地域ふれあいサロン実績報告(各地区公民館で自主運営)

	実施地区	実施回数	参加者数	各町内訳			
				【小城】	【三日月】	【牛津】	【芦刈】
令和 3年度	47地区	372回	3,410人	19地区	13地区	10地区	5地区
				151回	103回	70回	48回
				1,217人	744人	1,049人	400人
令和 2年度	48地区	390回	3,769人	21地区	12地区	9地区	6地区
				161回	102回	77回	50回
				1,390人	739人	1,208人	432人

* 自主運営される地区が48地区から47地区へと1地区減少。

保健福祉センターふれあいサロン実績報告

	実施か所	実施回数	参加者数	各町センター内訳			
				【桜楽館】 月・水・金	【ゆめりあ】 開催なし	【アイル】 水曜日	【ひまわり】 水曜日
令和 3年度	3か所	133回	890人	84回	/	32回	17回
				711人		145人	34人
令和 2年度	3か所	154回	1,300人	97回		36回	21回
				1,086人		167人	47人

令和3年度 事業報告

事業名	弁護士無料法律相談の開設																							
期 日	通年	担当者	地域福祉推進係 井上・大曲 各支所担当者																					
開催場所	社会福祉協議会 各支所(月1回 各町まわし)																							
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 地域における見守り・支えあい体制と外出支援の拡充																							
実施内容	<p>1. 目的 家庭・金銭・相続・登記などの法律に関する困りごとや心配ごとに対し、弁護士が指導および助言を行い、その問題の解決又は解決の糸口となることを目的として開設する。</p> <p>2. 内容 1回につき6人まで(1人30分以内)を限度に、法律に関する困りごとに対して、小城市内に事務所を置く弁護士による法律相談支援を行う。</p> <p>3. 対象者 小城市内在住者</p> <p>4. 利用料 無料</p> <p>5. 主催 小城市社会福祉協議会</p> <p>6. 協力 法律事務所かくすけ、吉丸法律事務所</p> <p>7. 予算額 360,000円 (10,000円×3時間×12人)</p> <p>8. 相談実績</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 30%;">開催回数</th> <th style="width: 30%;">相談者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小城町</td> <td>3回</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>三日月町</td> <td>3回</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>牛津町</td> <td>3回</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>芦刈町</td> <td>3回</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>12回</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>12回</td> <td>61人</td> </tr> </tbody> </table>				開催回数	相談者数	小城町	3回	18人	三日月町	3回	18人	牛津町	3回	16人	芦刈町	3回	16人	令和3年度	12回	68人	令和2年度	12回	61人
	開催回数	相談者数																						
小城町	3回	18人																						
三日月町	3回	18人																						
牛津町	3回	16人																						
芦刈町	3回	16人																						
令和3年度	12回	68人																						
令和2年度	12回	61人																						
特記事項 (課題等)	令和2年度に引き続き、継続相談時の利用者の利便性を考慮し、小城市内で法律相談をされている2人の弁護士の方に協力いただき、事業を実施した。相談者は令和2年度よりも増加した。																							

令和3年度 事業報告

事業名	福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)																																
期 日	通年																																
担 当 者	地域福祉推進係 陣内・友貞																																
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 生活困窮者、ひとり親家庭、障がい者等への相談支援と権利擁護の推進																																
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が低下されている方を対象に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の援助などを行うことを目的として実施する。</p> <p>2. 事業の取り組み</p> <p>①佐賀県社会福祉協議会からの受託事業</p> <p>②利用者の希望に基づいた計画書により、生活支援員が金銭の支払いや簡単な福祉サービスの利用手続きなどを支援する。</p> <p>3. 利用料</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">○1時間以内</td> <td style="text-align: right;">1,200円</td> </tr> <tr> <td>○以降30分毎に</td> <td style="text-align: right;">600円を加算</td> </tr> <tr> <td>○生活支援員の交通費</td> <td style="text-align: right;">37円/km</td> </tr> <tr> <td>○貸金庫(佐賀銀行小城支店)</td> <td style="text-align: right;">350円/月</td> </tr> </table> <p>※生活保護世帯は利用料を免除</p> <p>4. 現在の状況(令和4年3月31日現在)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">契 約 件 数</td> <td style="text-align: center;">認知症高齢者</td> <td style="text-align: center;">1件</td> <td style="text-align: center;">(生活保護受給者 0件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">知的障がい者</td> <td style="text-align: center;">5件</td> <td style="text-align: center;">(生活保護受給者 4件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">精神障がい者</td> <td style="text-align: center;">4件</td> <td style="text-align: center;">(生活保護受給者 4件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度 新規契約</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">2件 (生活保護受給者 1件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度 解 約</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">2件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">年度末の生活支援員</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">3人</td> </tr> </table> <p>5. 相談件数 延べ408件(令和2年度 482件)</p> <p style="padding-left: 20px;">(認知症高齢者51件 知的障がい者125件 精神障がい者232件)</p>			○1時間以内	1,200円	○以降30分毎に	600円を加算	○生活支援員の交通費	37円/km	○貸金庫(佐賀銀行小城支店)	350円/月	契 約 件 数	認知症高齢者	1件	(生活保護受給者 0件)	知的障がい者	5件	(生活保護受給者 4件)	精神障がい者	4件	(生活保護受給者 4件)	令和3年度 新規契約	2件 (生活保護受給者 1件)			令和3年度 解 約	2件			年度末の生活支援員	3人		
○1時間以内	1,200円																																
○以降30分毎に	600円を加算																																
○生活支援員の交通費	37円/km																																
○貸金庫(佐賀銀行小城支店)	350円/月																																
契 約 件 数	認知症高齢者	1件	(生活保護受給者 0件)																														
	知的障がい者	5件	(生活保護受給者 4件)																														
	精神障がい者	4件	(生活保護受給者 4件)																														
令和3年度 新規契約	2件 (生活保護受給者 1件)																																
令和3年度 解 約	2件																																
年度末の生活支援員	3人																																
特記事項(課題等)	<p>判断能力に不安がある方にとっては必要不可欠な事業であり、近年は精神障がい者に関する相談が増えてきている。この事業だけでは、解決できないこともあるため関係機関と連携し支援を進めていく必要がある。</p> <p>また、生活支援員の担い手も不足しており、社協だより「絆」に掲載し生活支援員を募っているが応募が少ない状況である。</p>																																

令和3年度 事業報告

事業名	ボランティアセンター事業
期 日	通年
担 当 者	地域福祉推進係 井上・無津呂
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 ボランティアの育成と活性化
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>小城市内におけるボランティア活動を推進するため、あらゆる機会を通じてボランティア活動に対する住民の関心を高め、住民のニーズを積極的に開拓する。また、活動にあたって必要な援助を行うことにより、いつでも、どこでも、誰でも、ボランティア活動に参加できる体制の整備に努め、もって地域における福祉コミュニティの形成を図る。</p> <p>2. 内容</p> <p>〈ボランティア情報〉</p> <p>社協だより「絆」(年6回発行)に現在のボランティアグループの情報や新登録グループの情報、イベント情報などを掲載し、普及啓発を図る。</p> <p>〈ボランティアの拠点づくり〉</p> <p>各町にボランティアルームを設置し、ボランティア活動の推進を図る。</p> <p>〈相談・登録・斡旋〉</p> <p>内容 ボランティア活動上の調整、施設への派遣依頼、学校への派遣依頼・調整、個人対応のボランティア派遣依頼・調整などボランティア活動の内容、見学等について</p> <p>斡旋 延べ45件 (ボランティア1件、学校6件、児童クラブ37軒、地域1件)</p> <p>〈24時間テレビチャリティー募金活動支援〉</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大予防のため、24時間テレビ街頭募金活動は実施されなかった。</p> <p>〈講座開催〉</p> <p>○読み聞かせボランティア養成講座(計3回)</p> <p>絵本専門士の資格を持つ方を講師に、幼児向けの絵本の選び方や読み方、小学生向けで集団での読み聞かせ技術などを学び、児童の健全育成に携わるボランティアの育成を行う。</p> <p>(開催日) 10月7日(木)、11月3日(水)、11月21日(日)</p> <p>(参加者) 延べ 25名</p>

<p>実施内容</p>	<p>○災害ボランティアセンター設置・運営研修会 佐賀県社会福祉協議会と共催で、災害が起こった想定での災害ボランティアセンター設置訓練を行った。当日は市内の関係団体のご協力もあり、婦人会や食生活改善推進協議会による炊き出し、ボランティア連絡協議会会員で被災者役・ボランティア役を担っていただき、より実践的なものとなった。 (開催日) 10月15日(金) (参加者) 延べ 60名</p> <p>○生活支援ボランティア養成講座 地域の高齢者のちょっとだけ困っていることを解決するボランティアの養成および現在活動されているボランティアのスキルアップを図る。 (開催日) 9月24日(金)、10月5日(火)、10月13日(水)、10月20日(水) 11月5日(金)、11月9日(火) (参加者) 延べ 71人</p> <p>〈小城市ボランティア連絡協議会 事務局業務〉 小城市ボランティア連絡協議会事務局として、各団体の活動推進に寄与する。 登録グループ数 47グループ 659人(個人ボランティア含む) ・小城支部 ふれあい会食会 中止 (高齢者へアルコール除菌シート配付) ・三日月支部 ふれあいの集い 放課後児童クラブ交流会 中止 (高齢者へはアルコール除菌シート、児童へはクッキーを配付) ・おはなしフェスタおぎ 中止 ・ボランティアフェスタ 11月17日(水) 牛津公民館で令和元年8月豪雨の際の牛津石工の里の石仏救出活動の講話を聞き、公民館周辺の散策を行う。</p> <p>〈ボランティア保険取扱業務〉 ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償を取扱い、ボランティア活動時の事故等に備える。 加入者数 活動保険(延べ544人)、行事用保険(5件 延べ242人)</p>
<p>特記事項 (課題等)</p>	<p>・令和3年度もコロナ禍ではあったが、令和2年度に比べ施設や地域からの派遣依頼が増加したが、新型コロナウイルス感染症が増加して中止になったこともあった。 ・ボランティア連絡協議会総会は役員のための縮小開催、ボランティアフェスタも距離を取りながら、外での散策を取り入れて実施した。 冬に計画していた研修会は中止した。 ・ボランティア連絡協議会に加入されているグループの活動が減少したため退会される団体もあったが、新たに武雄市、大町町への災害支援のために登録される団体もあった。 ・養成講座等は感染症対策を徹底したうえで行った。</p>

令和3年度 事業報告

事業名	学校ボランティア育成事業
担当者	地域福祉推進係 井上、無津呂
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 ボランティアの育成と活性化
実施内容	<p>1. 目的</p> <p> 少子高齢化の急速な進展に加え、核家族化の進行により家庭環境の変化と地域力の低下が進む中、市民が安心・安全に豊かに生活ができるように、地域社会で顔なじみになり、お互い支え合いの仕組みを構築することが重要である。</p> <p> そのため次代を担う、児童・生徒に対し、福祉教育の充実とボランティア活動(市民活動)の機会や地域の人との交流を深め、たくましく豊かな心を育むことを目的とする。</p> <p>2. 内容</p> <p> 市内の小・中学校及び高等学校14校をボランティア活動協力校に指定し、各学校独自に計画したプログラムを実施するための費用を助成する。</p> <p> また、社会福祉協議会として各学校のプログラムに協力し、高齢者・障がい者の理解につながる支援・指導を行う。</p> <p>3. 参加対象者 市内小・中学校及び高等学校のボランティア担当教諭および児童・生徒</p> <p>4. 主 催 小城市社会福祉協議会</p> <p>5. 予 算 555,000円(活動助成金)</p>
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き、学校ボランティア連絡会は新型コロナウイルス感染拡大予防のため開催せず、申請書類の送付及び必要な学校への個別訪問を行った。 ・各学校で様々な活動が行われたが、新型コロナウイルス感染拡大予防により、郊外活動を行うことができなかった。 ・福祉体験学習は「福祉教育推進事業」として新しくプログラムを作り、授業を希望される学校で実施した。

令和3年度 小城市学校ボランティア育成事業協力校 助成金交付一覧

学校名	助成額	主な活動
桜岡小学校	40,000円	各教室への花瓶配り、みんなの森プロジェクト花壇作り、赤い羽根募金、ユニセフ募金、地域へ花のプレゼント
岩松小学校	40,000円	ベルマーク、テープの巻芯集め、募金活動、花いっぱい運動、校内清掃ボランティア、地域へ花のプレゼント
晴田小学校	40,000円	花いっぱい活動、募金活動、校内美化活動、地域へ花のプレゼント
三里小学校	40,000円	花いっぱい運動、アルミ缶、ペットボトルキャップ回収クリーン作戦
三日月小学校	40,000円	花いっぱい運動、募金活動、プルタブ、ペットボトルキャップ回収
牛津小学校	40,000円	花いっぱい運動、募金活動、ベルマーク、アルミ缶回収
砥川小学校	40,000円	花いっぱい運動、募金活動、交通安全マスコット作り、石工の里保存を訴えるカレンダー作りと募金活動
芦刈観瀾校小学部	40,000円	ベルマーク募集・回収、ボランティア活動の呼びかけ、お世話になった方へのプレゼント作り、ようこそ1年生、学校美化運動
小城中学校	35,000円	募金活動、花いっぱい運動
三日月中学校	40,000円	プルタブ回収、募金活動、ペットボトルキャップ回収 花いっぱい運動
牛津中学校	40,000円	特別養護老人ホーム・牛津ルーテルこども園へ花のプレゼント
芦刈観瀾校中学部	40,000円	ペットボトルキャップ回収、ダルニー奨学金、ワールドギフト、花いっぱい運動
小城高等学校	40,000円	白い羽根・赤い羽根募金、地域河川清掃、(春・秋)、江里山棚田ボランティア、幸せの灯運営補助、演奏、竹灯り準備・運営補助
牛津高等学校	40,000円	お弁当掛け紙絵、牛津町内美化活動、季節便利スクールプロジェクト活動、マスク作り、牛津駅へボランティアの設置
計	555,000円	

令和3年度 事業報告

事業名	福祉教育推進事業
担当者	地域福祉推進係 井上、無津呂
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 ボランティアの育成と活性化
実施内容	<p>1. 目的</p> <p> 少子高齢化の急速な進展に加え、核家族化の進行により家庭環境の変化と地域力の低下が進む中、市民が安心・安全に豊かに生活ができるように、地域社会で顔なじみになり、お互い支え合いの仕組みを構築することが重要である。</p> <p> その中で高齢者や障がい者、支援者とともに、学齢期における福祉についての学びを深めることで、排除しない地域共生社会づくりに努めることを目的とする。</p> <p>2. 内容</p> <p> 小城市人権擁護委員や障がい当事者、障がい者の支援を行うボランティアグループなどと協力し作ったプログラム(導入～体験～振り返りまとめ)を小城市内小・中学校へ配付し、希望される学校へ出向き、学びの授業を行う。(各単元の講師は社協、ボランティアで行う。)</p> <p>3. 参加対象者 市内小・中学校 児童・生徒</p> <p>4. 主 催 小城市社会福祉協議会</p>
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、全社協主催の全国福祉教育推進員研修を通じて、社協が行う福祉教育が進められており、佐賀県においても「福祉教育実践研究会」が開催されている。小城市では間違った障がい者理解(障がい者は何もできない、かわいそうといった理解)につながらないよう、福祉概念の理解、当事者本人による講話や体験を通じた理解、振り返りを行うプログラムを作成し、学校に働きかけて福祉教育を進めていくことになった。 ・令和3年度はプログラム実施初年度で、社協担当者も含めて、講師としてご協力いただく各団体の方も手探り状態の中での実施となった。回数を重ねていくにつれ、小学生向け、中学生向けの講話が確立され始め、スムーズに実施できるようになった。 ・今回は学校側への案内で、実施を希望する学校にのみ入っていき、実施したが、今後は徐々に広げていきたい。また児童生徒は元より、一緒に講話を聞いていただく教職員への福祉の学びの提供にも努めていきたい。(発達障がいの理解など)

福祉教育推進事業 プログラム

項目	目的・内容	講師
【導入】 地域に住む人の暮らしを知る	【講話・グループワーク】 地域には様々な人(子どもや高齢者、障がい者)と一緒に暮らしていること、人とは感じ方、考え方が違うことを知り、他者を思いやれるようになること。	社協 人権擁護委員
【理解】 日常生活の困りごとを知る。	【講話・交流・体験】 ろうあ者・ボランティアが学校へ訪問し、耳が聞こえない中での生活や困りごと、逆に健常者と変わらず出来ることなどを聞き、交流することで、障がい者に対する理解を深める。	社協 障がい当事者 ボランティアグループ
【体験】 日常生活での障がい者体験を行う。	【講話・体験活動】 ①視覚障がい者の生活体験(講話・アイマスク体験) ②身体障がい者の生活体験(講話・車いす体験) ③障がい者スポーツ体験(講話・ボッチャ体験)	社協 障がい当事者 ボランティアグループ 佐賀県障がい者 スポーツ協会 小城市スポーツ推進員
【振り返り】 振り返り発表会	【振り返り】 これまでの講話、体験で感じたこと、これから行えることなどをまとめ、発表することで、子ども自身の学びをさらに深める。	これまでの講師

令和3年度 実施校

学校名	期 日	内 容	講 師
桜岡小学校	9月21日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	10月26日	身体障がい者生活体験(車いす)	社協 障がい当事者
岩松小学校	11月 1日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	11月 8日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
	11月15日	視覚障がい者生活体験(アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
	11月19日	障がい者スポーツ体験(ボッチャ)	社協 障がい者スポーツ協会等
	11月26日	身体障がい者生活体験(車いす)	社協 障がい当事者
晴田小学校	12月 6日	高齢者の生活についての講話	社協 晴田校区民生委員
三日月小学校	9月29日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	9月30日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
	10月6日	身体障がい者生活体験(車いす)	社協 障がい当事者
	10月11日	障がい者スポーツ体験(ボッチャ)	社協 障がい者スポーツ協会
	11月19日	視覚障がい者生活体験	社協 ガイドヘルプボランティア
	12月22日	振り返り発表会	
三日月中学校	1月21日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
牛津中学校	9月15日	人権についての講話	人権擁護委員
	9月29日	福祉についての講話	社協
	10月 1日	身体障がい者生活体験(車いす)	社協 障がい当事者
	11月 5日	障害者スポーツ体験(ボッチャ)	社協 障害者スポーツ協会等

令和3年度 事業報告

事業名	支えあいセンター事業
期 日	通年
担 当 者	地域福祉推進係 井上・吉村
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 ボランティアの育成と活性化
実施内容	<p>1. 目 的</p> <p>一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯等の方を対象に、買い物代行やゴミ出しといった生活上のちょっとしたお困りごとや介護保険では対応できないニーズに対して、地域のボランティアの支援で解決することで、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、利用者とボランティアをつなぎ、住民相互の助け合いを推進する。</p> <p>支えあいセンター活動はチケットによる有償ボランティア活動として運営する。</p> <p>2. 内 容</p> <p>〈利用者登録〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小城市内にお住まいの一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の方を対象に、センター利用について説明し、登録を受け付ける。 ・支えあいチケットを販売する。(1枚100円、10枚綴り) <p>〈協力ボランティア登録〉</p> <p>支えあい活動に興味のある方の申し込みを受け付け、ボランティア登録を推進する。</p> <p>〈調整〉</p> <p>利用者からの申し出を受け、希望日に沿うようボランティアへ連絡し調整を図る。</p> <p>〈活動および報告〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動終了後は、ボランティアより電話連絡をいただくことで活動を把握している。 ・支えあい活動は20分以内100円で行う。(令和2年4月より)
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、利用者とボランティアの距離を保ち、手指消毒を徹底して活動した。 ・付き添い支援は4月から活動し、週1回の活動を行ったが、利用者からの要望もあり、週4回の活動へ増加した。 ・買い物代行、ゴミ出しも倍増となり、活動を広げることができた。 ・今後も各町協議体での意見や利用者の要望等を取り入れながら活動を推進していきたい。

支えあいセンター活動状況

○活動状況

(単位：件)

町名		月												合計	令和2年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
小 城 町	買い物	8	7	8	12	12	13	13	12	11	12	8	9	125	18
	ゴミ出し	16	10	11	16	19	15	14	22	26	26	28	36	239	70
	付き添い	2	5	4	6	12	6	11	8	24	12	15	34	139	17
	その他	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2
三 日 月 町	買い物	11	6	11	12	11	14	15	8	3	10	9	10	120	31
	ゴミ出し	4	3	6	8	9	13	11	8	8	11	14	15	110	45
	付き添い	5	5	7	1	0	2	2	4	0	2	8	17	53	5
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
牛 津 町	買い物	4	3	5	4	1	0	0	0	1	0	0	0	18	34
	ゴミ出し	12	12	11	9	14	12	11	12	17	17	19	24	170	111
	付き添い	1	5	3	6	2	11	8	10	5	20	9	18	98	23
	その他	0	0	0	0	0	0	1	1	5	1	2	0	10	2
芦 刈 町	買い物	6	3	4	5	2	2	5	4	4	2	0	3	40	64
	ゴミ出し	7	3	4	4	3	3	5	5	5	4	3	5	51	49
	付き添い	0	2	0	2	0	4	6	4	2	4	2	5	31	8
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	買い物	29	19	28	33	26	29	33	24	19	24	17	22	303	147
	ゴミ出し	39	28	32	37	45	43	41	47	56	58	64	80	570	275
	付き添い	8	17	14	15	14	23	27	26	31	38	34	74	321	53
	その他	0	2	2	2	0	0	1	1	5	1	2	0	16	5
令和3年度合計													1,210	480	

○登録状況

(単位：人)

町名	種 別	令和3年度	令和2年度
小 城 町	利用者	39	20
	協力ボランティア	22	18
三 日 月 町	利用者	24	14
	協力ボランティア	12	9
牛 津 町	利用者	35	27
	協力ボランティア	15	13
芦 刈 町	利用者	11	10
	協力ボランティア	13	12
合 計	利用者	109	71
	協力ボランティア	62	52

福祉資金貸付事業

(P 2 4 ~ P 2 5)

令和3年度 事業報告

事業名	生活福祉資金貸付事業		
期 日	通年		
受付場所	小城市社会福祉協議会 本所		
対 象 者	低所得世帯や障がい者世帯等	担当	自立支援センター相談員
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 生活困窮者、ひとり親家庭、障がい者等への相談支援と権利擁護の推進		
実施内容	1. 目 的 低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とする。		
	2. 内 容 佐賀県社会福祉協議会が実施する貸付事業の相談受付及び申請。		
	3. 実 績 相談件数		
		令和3年度	令和2年度
	総合支援資金	0件	2件
	福祉費	2件	7件
	教育支援資金	1件	1件
	療養・介護	0件	0件
	緊急小口	1件	3件
	臨時特例つなぎ資金	0件	0件
不動産担保型生活資金	0件	0件	
特例貸付 緊急小口資金	81件	238件	
特例貸付 総合支援資金	134件	148件	
合計	219件	399件	
	申請・貸付件数		
	令和3年度	令和2年度	
申請件数	199件	316件	
貸付件数	199件	316件	
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年3月25日から新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付対象を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金で一時的に困れている方々に向けた、特例貸付の申請により相談件数が急増している。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、なおも減収が続く世帯に対して、相談や聞き取り等を行い、各種支援につなぐ必要がある。 		

令和3年度 事業報告

事業名	福祉資金貸付事業																	
期 日	通年																	
受付場所	小城市社会福祉協議会 各支所																	
対 象 者	低所得世帯や障がい者世帯等	担当	自立支援センター相談員 各支所担当者															
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 生活困窮者、ひとり親家庭、障がい者等への相談支援と権利擁護の推進																	
実施内容	<p>1. 目 的 小城市社会福祉協議会が、低所得世帯、障害者世帯及び母子世帯に対して資金の援助指導を行うことにより、経済的自立と生活意欲の助長を促進し安定した生活を営むことを目的とする。</p> <p>2. 内 容 生活、葬祭、医療及び就学支度に必要な資金を限度額50,000円まで貸付けることができる。ただし、借入申請者は小城市内に居住する連帯保証人を付け、所定の借入申請書を担当地区の民生委員を通じて、小城市社会福祉協議会に提出する。</p> <p>3. 実 績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;"></th> <th style="width: 30%;">令和3年度</th> <th style="width: 30%;">令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>1件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>貸付件数</td> <td>0件</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>貸付金額</td> <td>0円</td> <td>175,000円</td> </tr> <tr> <td>償還金額</td> <td>70,000円</td> <td>189,360円</td> </tr> </tbody> </table>				令和3年度	令和2年度	相談件数	1件	15件	貸付件数	0件	7件	貸付金額	0円	175,000円	償還金額	70,000円	189,360円
	令和3年度	令和2年度																
相談件数	1件	15件																
貸付件数	0件	7件																
貸付金額	0円	175,000円																
償還金額	70,000円	189,360円																
特記事項 (課題等)	生活保護の申請をされ、入金までの生活費のつなぎ資金として相談が増えている。また、貸付の相談に来られる方は、困窮世帯が多いため、生活自立支援センターと連携し、家計の聞き取り、支払いの確認、滞納などの聞き取りし支援をしている。																	

小城市受託事業

(P 2 6 ~ P 4 2)

令和3年度 事業報告

事業名	軽度生活支援事業及び地域生活応援業務		
期 日	通年		
場 所	小城市全域		
対 象 者	虚弱な一人暮らし高齢者等	担当者	地域生活支援課 森
地域福祉活動計画	基本目標	みんなで支える地域づくり	
	基本施策	地域における見守り・支え合い体制と外出支援の促進	
軽度生活支援実施内容	<p>1. 目的 在宅の概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯等へ軽易な日常生活上の支援を行うことにより、住み慣れた自宅で自立した生活を継続するとともに、要介護状態への防止を図ることを目的として実施する。</p> <p>2. 内容 ①食事、食材の確保、調理支援 ②衣類等の洗濯 ③家屋内の整理整頓、掃除 ④その他軽易な日常生活上の支援 ⑤市役所や包括支援センター等への情報提供や相談等</p> <p>3. 対象者 介護保険の要支援・要介護認定を受けていない概ね65歳以上の高齢者で、心身状態が低下し支援が必要な方。 (ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯で市に申請後認定された方)</p> <p>4. 利用料 300円/時間 (超過30分毎150円)生活保護世帯は半額</p> <p>5. 利用延人数 令和 3年度年間 158人 (実人員 13人) 令和 2年度年間 152人 (実人員 17人)</p> <p>6. 利用延回数 令和 3年度年間 640回 令和 2年度年間 588回</p>		
地域生活応援業務実施内容	<p>1. 目的 安否確認の訪問見守り(無料)・関係機関との連携、福祉サービスのつなぎ支援等を行う。</p> <p>2. 内容 ①訪問延件数 108件/年間 稼働時間54時間50分/年間 (令和2年度件数延べ101件/年間 稼働時間47時間40分/年間) ②市役所や包括支援センターへ情報提供や相談等</p> <p>3. 対象者 見守り支援が必要なひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯</p> <p>4. 対象者数 三日月1世帯2人、牛津1世帯1人、小城・芦刈なし 合計 2世帯3人(令和4年3月末現在) (令和2年度 三日月1世帯2人、牛津1世帯1人、小城・芦刈なし 合計 2世帯3人)</p>		
特記事項(課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時の利用者の状態観察により、必要に応じて病院受診の声掛け、ご家族や市役所、医療機関への報告を行い、状態悪化の早期発見、早期対応を行う。 ・状態悪化のため、介護保険サービスへ移行するケースもあり、移行時は関係機関に適切につなぐ。 ・課題を抱える方への見守り支援は、市、包括支援センター、民生委員等の関係機関と連携を図りながら、情報を共有し支援につなげる。 		

令和3年度 事業報告

事業名	生きがい活動支援通所事業(南部生きがいデイサービス)																																						
期 日	通年	担当者	地域生活支援通所係 古賀 諸隈 野田																																				
場 所	芦刈保健福祉センター「ひまわり」																																						
参加人員	延べ 稼働 223日 延べ 2,384人 (1日平均 10.7人) (令和2年度 稼働 204日 延べ 2,308人 1日平均 11.3人)																																						
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本方針 地域での交流の機会・場の拡充と世代間交流の促進																																						
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>小城市が定めた特定高齢者等に対し、積極的に筋力向上や生きがい活動を行い、生活機能の低下を防ぎ、要支援・要介護状態になることを予防する。 また、定期的な交流の場を提供することにより、閉じこもりを防止し、高齢者ができる限り自立した生活を営むことができるよう支援する。</p> <p>2. 登録者</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">地区名</th> <th style="width: 12.5%;">男性</th> <th style="width: 12.5%;">女性</th> <th style="width: 12.5%;">令和3年度</th> <th style="width: 12.5%;">令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦刈町</td> <td>0人</td> <td>21人</td> <td>21人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>牛津町</td> <td>5人</td> <td>40人</td> <td>45人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5人</td> <td>61人</td> <td>66人</td> <td>72人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 活動内容</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;"></th> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 20%; text-align: right;">令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 元気アップ教室</td> <td>101日</td> <td>1069人</td> <td style="text-align: right;">(829人)</td> </tr> <tr> <td>(2) フォローアップ教室</td> <td>114日</td> <td>979人</td> <td style="text-align: right;">(1,209人)</td> </tr> <tr> <td>(3) 生きがい活動</td> <td>223日</td> <td>336人</td> <td style="text-align: right;">(270人)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">①認知症予防、レクリエーション活動、趣味活動、手芸活動 ②芦刈町ひな祭り会・文化祭参加 ③野外活動(年2回) 桜見物、梅林見物 ④防火訓練参加</p>			地区名	男性	女性	令和3年度	令和2年度	芦刈町	0人	21人	21人	24人	牛津町	5人	40人	45人	48人	合計	5人	61人	66人	72人				令和2年度	(1) 元気アップ教室	101日	1069人	(829人)	(2) フォローアップ教室	114日	979人	(1,209人)	(3) 生きがい活動	223日	336人	(270人)
地区名	男性	女性	令和3年度	令和2年度																																			
芦刈町	0人	21人	21人	24人																																			
牛津町	5人	40人	45人	48人																																			
合計	5人	61人	66人	72人																																			
			令和2年度																																				
(1) 元気アップ教室	101日	1069人	(829人)																																				
(2) フォローアップ教室	114日	979人	(1,209人)																																				
(3) 生きがい活動	223日	336人	(270人)																																				
特記事項 (課題等)	<p>《報告》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行っていたボランティア等との交流活動を中止した。 ・県内の感染者が多くなった際は、市と協議し、デイサービスの利用中止や隔週利用で対応を行った。そのため、下肢筋力の低下や認知機能の低下により、介護保険へ移行される方が増え、年間を通して利用者減に繋がった。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により外部との交流が難しく、活動内容が制限されるため、レクリエーションの内容を充実させていく。 ・自立した在宅生活が継続できるよう、各関係機関と連携し、介護予防・認知症予防・閉じこもり予防を促進していく。 ・感染症予防に留意し、利用者増に向けた周知活動を行っていく。 																																						

令和3年度 事業報告

事業名	障害者移送サービス事業		
期 日	通年 8時30分から17時(土日、祭日、年末年始を除く)		
移送の範囲	佐賀中部広域連合構成市町内で、運送の発地又は着地のいずれかが小城市内であること。		
年間利用者	延べ 932人 (令和2年度 983人)	担当者	移送サービス支援員 橋本
地域福祉活動計画	基本目標	みんなで支える地域づくり	
	基本施策	地域における見守り・支え合い体制と外出支援の拡充	
実施内容	<p>1. 内 容</p> <p style="padding-left: 2em;">市内に在住の障がい者や高齢者の方に、車椅子ごと乗降できる車両で、通院やリハビリ、社会参加等への移送を提供するサービス。</p> <p>2. 利用できる方</p> <p style="padding-left: 2em;">市内に住所を有する方で、次の要件を満たす方。 ※障がい者の方（身体・療育・精神の各手帳所持が原則）や介護保険の要介護認定を受けた方で、市の利用要件に該当され、かつ公共交通機関を利用することが困難な方。 ※令和4年3月末で37人登録</p> <p>3. 利用料</p> <p style="padding-left: 2em;">タクシー料金の概ね半額程度で、待機料金は10分毎に100円が必要。</p> <p>4. 利用目的</p> <p style="padding-left: 2em;">①病気治療(通院・リハビリ) ②福祉サービスの利用 ③研修会等の社会参加等</p>		
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規登録 10人、廃止・非継続25人、3月末 37人の登録となっている。 ・利用者の体調や病状に配慮し、丁寧な対応・安全運転に努めていく。 ・年3回予定の佐賀中部地区福祉有償運送運営協議会に参加し、移送サービスの現状や問題点、改善点を確認し現サービスに反映していく。 		

令和3年度 障害者移送サービス事業実績報告書

1. 利用実績

当初登録者数	年度中の増減	年度末登録者数	備 考
52 人	△15	37 人	毎年更新の確認実施

2. 月別利用実績

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
件数	115 件	72 件	95 件	103 件	65 件	53 件	
料金	93,600 円	58,940 円	80,400 円	92,560 円	53,820 円	39,140 円	
距離	756.6 km	469.6 km	633.5 km	751.0 km	423.0 km	306.2 km	
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	66 件	65 件	65 件	62 件	79 件	92 件	932 件
料金	49,080 円	49,060 円	50,280 円	45,240 円	55,200 円	62,160 円	729,480 円
距離	382.2 km	389.3 km	395.1 km	341.4 km	443.3 km	551.2 km	5,842.4 km

＜令和2年度計＞983 件 761,020円 6,075.4km

3. 事故件数 事故件数 0 件

4. 苦情件数 苦情件数 0 件

5. 利用目的別の件数 ※()内は令和2年度実績

目 的	件 数	目 的	件 数
研修会等への参加	0 件(0 件)	冠婚葬祭への参加	0 件(0 件)
レクリエーション	0 件(0 件)	公共機関への移送	0 件(23 件)
病院・施設入退院	904 件(954 件)	その他	27 件(4 件)
買い物等	1 件(2 件)	計	932 件(983 件)

6. 身体状況、態様別の件数 ※()内は令和2年度実績

状況・態様	件 数
身体障がい者	765 件(804 件)
要介護	67 件(83 件)
要支援	0 件(0 件)
その他	100 件(96 件)
計	932 件(983 件)

令和3年度 事業報告

事業名	愛の一声運動推進事業																						
期 日	通年	訪問連絡員数	157人																				
担当者	地域福祉推進係 井上、各支所担当																						
地域福祉 活動計画	基本目標	みんなで支える地域づくり																					
	基本施策	地域における見守り・支え合い体制と外出支援の拡充																					
実施内容	<p>1. 目 的 ひとり暮らし高齢者の生活状況を常時把握し、孤立感を慰め、日常生活の安全を確保する。</p> <p>2. 内 容 訪問連絡員を設置し、担当世帯を定期的に訪問し対象者の話し相手や相談相手になり、生活及び健康状態を観察し、必要に応じて民生委員・児童委員などに連絡する。 年に1回訪問員に向けた研修会を行い、資質向上に務める。</p> <p>3. 対象者 概ね65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみ世帯</p> <p>4. 協 力 訪問連絡員、民生児童・児童委員</p> <p style="text-align: right;">※()は令和2年度</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 30%;">訪問対象者</th> <th style="width: 30%;">訪問連絡員</th> <th style="width: 30%;">研修会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">小城町</td> <td style="text-align: center;">61人(69人)</td> <td style="text-align: center;">55人(61人)</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">新型コロナウイルス感染拡大予防のため、研修資料を配布する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">三日月町</td> <td style="text-align: center;">47人(57人)</td> <td style="text-align: center;">47人(48人)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">牛津町</td> <td style="text-align: center;">36人(35人)</td> <td style="text-align: center;">32人(32人)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">芦刈町</td> <td style="text-align: center;">23人(22人)</td> <td style="text-align: center;">23人(21人)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">167人(183人)</td> <td style="text-align: center;">157人(162人)</td> </tr> </tbody> </table>				訪問対象者	訪問連絡員	研修会	小城町	61人(69人)	55人(61人)	新型コロナウイルス感染拡大予防のため、研修資料を配布する。	三日月町	47人(57人)	47人(48人)	牛津町	36人(35人)	32人(32人)	芦刈町	23人(22人)	23人(21人)	計	167人(183人)	157人(162人)
	訪問対象者	訪問連絡員	研修会																				
小城町	61人(69人)	55人(61人)	新型コロナウイルス感染拡大予防のため、研修資料を配布する。																				
三日月町	47人(57人)	47人(48人)																					
牛津町	36人(35人)	32人(32人)																					
芦刈町	23人(22人)	23人(21人)																					
計	167人(183人)	157人(162人)																					
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・小城町、三日月町で訪問対象者が減少したが、牛津町、芦刈町では増加している。減少は、死亡、転居などによる登録抹消での減少や元気な高齢者も多いことが考えられる。引き続き、民生委員・児童委員の方にご協力いただき、見守り体制の推進に努めていきたい。 ・研修会を企画していたが、まん延防止等重点措置が発令されたため、急遽中止した。活動に対する謝礼、研修資料は民生委員・児童委員の方々に配付していただいた。 																						

令和3年度 事業報告

事業名	高齢者ふれあいサロン事業		
期 日	通年		
場 所	小城市全域		
対 象 者	各地区の概ね65歳以上の方 (65歳未満の方も協力員として参加可)	担当者	ふれあいサロン係 野田・中原・嘉村・秋山
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 地域での交流の機会・場の拡充と世代間交流の促進		
実施内容	<p>1. 目 的 家に閉じこもりがちな高齢者等へ自らが生きがいを見つけ、地域とのつながりを保ち、自立した在宅生活を確保することを支援する。</p> <p>2. 内 容 各地区の公民館へ出向き、介護予防・認知症予防の体操やレクリエーションの紹介、健康や福祉についての情報提供をする。</p> <p>3. 実施地区 ふれあいサロン(職員派遣) 小城市 6 地区 三日月町 8 地区 牛津町 6 地区 芦刈町 9 地区 各保健福祉センターサロン3か所</p> <p>4. 参 加 費 無料(活動に伴うその他材料費等は実費負担)</p> <p>5. 主 催 地区住民運営</p> <p>6. 協 力 区長、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、ボランティア等</p>		
活動概要	<p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の公民館へ出向き、介護予防・認知症予防の脳トレや体操などを実施している。 ・福祉や健康についての情報提供やレクリエーション活動、いきいき百歳体操の紹介などを行っている。 ・参加者から気になり情報を聴き、関係機関と連携して支援している。 ・自主サロンの説明や移行支援などを行っている。 <p>【効 果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民相互の助け合いや通いの場の必要性が理解され、住民交流の場、通いの場づくりについて、地域が主体的に取組みをする意識が向上している。 ・ふれあいサロンへの参加が介護予防・認知症予防につながっていることが認識されている。 <p>【課 題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気になり方などのニーズを発見しても、本人や家族への状況把握のためのアプローチが大変難しい。関係機関と連携して、相談支援に取り組む必要がある。 ・新規の参加者を増やす工夫が必要だと感じる。 ・新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら活動を行う必要がある。 		

ふれあいサロン実績報告(各地区公民館開催)

	実施地区	実施回数	参加者数	各町内訳			
				【小城】	【三日月】	【牛津】	【芦刈】
令和 3年度	29地区	235回	1,338人	6地区	8地区	6地区	9地区
				53回	54回	52回	76回
				198人	296人	396人	448人
令和 2年度	36地区	29回	1,655人	10地区	9地区	8地区	9地区
				80回	79回	58回	82回
				343人	402人	418人	492人

保健福祉センターふれあいサロン実績報告

	実施か所	実施回数	参加者数	各町センター内訳			
				【桜楽館】 月・水・金	【ゆめりあ】 開催なし	【アイル】 水曜日	【ひまわり】 水曜日
令和 3年度	3か所	59回	301人	16回		25回	18回
				143人		107人	51人
令和 2年度	3か所	78回	461人	18回		31回	29回
				217人		156人	88人

令和3年度事業報告書

事業名	小城市子育て相互支援事業		
日時	通年	担当者	地域福祉推進係 船津・木塚
地域福祉 活動計画	基本目標 基本施策	みんなで支える地域づくり 地域における見守り・支えあい体制と外出支援の拡充	
実施内容	<p>1. 目的 既存の保育サービスでは応じきれない保育ニーズに応え、安心して子育てできる環境づくりを目指す。病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の預かりなど多様なニーズへの対応を図ることを目的とする。</p> <p>2. 事業 ①育児の支援を受けたい人と支援できる人が会員となり、ファミリーサポートセンターを仲介として、託児・送迎・家事支援等を会員同士で支え合う援助活動の調整 ②会員に対して相互援助に必要な講習会の開催 ③会員の交流を深め、情報交換のための交流会の開催 ④子育て支援関連施設・事業と連絡調整</p> <p>3. 活動内容 ①保育施設の時間外や学校の放課後などの子どもの預かり ②冠婚葬祭や買い物等外出の際の子どもの預かり ③学校・保育施設などの送迎 ④出産前後の家事支援 ⑤軽度の病児・病後児の預かり</p> <p>4. 登録者数 利用会員603人、協力会員43人</p> <p>5. 活動実績 1,923件、時間 4,997時間25分 (送迎託児 255件、送迎 557件、託児 1,062件、家事 49件) (令和2年度 1,644件、時間 5,123時間49分)</p> <p>6. 研修会 ・サポーター養成講座 10月4, 5, 7, 12, 14, 18日 11講座に24人参加(新規修了者6人) ・協力会員研修 1月31日(月) 小城保健福祉センター「桜楽館」で情報交換会中止(新型コロナウイルス感染症拡大予防のため)</p> <p>7. 利用料金 平日の8時から18時は原則1時間400円(利用者負担) (※市から1時間あたり200円の補助あり)</p>		
特記事項 (反省・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・「送迎」に関する依頼が増加しているが市外への「送迎」は対応できない場合がある。 ・特別な支援の必要な子どもに対応できるスタッフ及びサポーターのスキルの向上をめざす。 ・コロナ禍で産後うつや精神を患う母親の孤立感はいっそう深まっており、共感の言葉を伝え、寄り添う支援がますます重要になっている。 ・協力会員の高齢化が進んでいるため、両方会員を増やしていく必要がある。 		

令和3年度事業報告書

事業名	小城市地域子育て支援拠点事業		
日時	通年	担当者	地域福祉推進係 木塚・山田・中村(真)
地域福祉 活動計画	基本目標 基本施策	みんなで支える地域づくり 地域における見守り・支えあい体制と外出支援の拡充	
実施内容	<p>1. 目的 子育て中の親の孤独感や不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。</p> <p>2. 事業 ①乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報の提供、助言を行う。</p> <p>3. 活動内容 ・桜楽館(小城保健福祉センター) 毎週月曜日・金曜日(10:00～12:00)・水曜日(10:00～15:00) ・ひまわり(芦刈保健福祉センター) 毎週火曜日(10:00～15:00)木曜日(10:00～12:00)</p> <p>4. 活動実績 ・桜楽館 1,559組(大人1,609人 子ども1,756人) (令和2年度1,302組(大人1,669人 子ども1,459人)) ・ひまわり 675組(大人697人 子ども811人) (令和2年度444組(大人612人 子ども498人))</p>		
特記事項 (反省・課題)	<p>・コロナ禍で遊びに行く場所が減り、また実家が県外で帰省できず孤立して不安になっている人がいる。</p> <p>・核家族化が進行するなか、子育ての悩みを相談できる人がいなく、ひとりで抱え込んでいる人が増えてきている。身近な相談相手になれるようにスタッフやボランティアのスキルアップを図る。</p> <p>・密を避けるため、イベントは中止して自由あそびを主体にし、検温や消毒など感染症対策にできる限り配慮している。</p>		

令和3年度 事業報告

事業名	小城保健福祉センター「桜楽館」の管理・経営														
期 日	通年														
場 所	小城市小城保健福祉センター「桜楽館」 小城市小城町畑田750番地														
総利用人員	84,517人	担当	地域福祉企画課、小城支所												
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 暮らしやすい生活環境の整備と既存施設の有効活用														
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。</p> <p>また、各福祉団体やボランティアグループ及び子育て支援事業の拠点として利用されている「桜楽館」を社協が管理することによって、より以上に地域住民や各種団体と連携・協働が可能になり、小城市地域福祉活動計画に基づく「だれもが心の豊かさと幸せを実感できる健康・福祉のまち 小城」を推進する。</p> <p>2. 管理内容</p> <p>通常勤務の管理人1人とその他に土・日曜日及び「国民の祝日」に対応した日々雇用の職員4人を配置して管理している。その他に管理業務や運営業務は、社協職員が兼務している。</p> <p>3. 利用実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">利用者数</th> <th style="width: 35%;">利用料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度</td> <td style="text-align: center;">84,517人</td> <td style="text-align: center;">1,087,969円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和2年度</td> <td style="text-align: center;">32,168人</td> <td style="text-align: center;">914,110円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">前年対比</td> <td style="text-align: center;">52,349人の増</td> <td style="text-align: center;">173,859円増</td> </tr> </tbody> </table>				利用者数	利用料金	令和3年度	84,517人	1,087,969円	令和2年度	32,168人	914,110円	前年対比	52,349人の増	173,859円増
	利用者数	利用料金													
令和3年度	84,517人	1,087,969円													
令和2年度	32,168人	914,110円													
前年対比	52,349人の増	173,859円増													
特記事項 (課題等)	<p>① 利用状況について</p> <p>新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場となったため、年間を通して多目的ホール等の使用ができなかった。</p> <p>② 災害時自主避難所の対応について</p> <p>令和3年度の災害時自主避難所は、「桜楽館」が新型コロナウイルスワクチン集団接種会場となったため「ゆめぷらっと小城」へ変更となった。</p>														

令和3年度 事業報告

事業名	芦刈保健福祉センター「ひまわり」の管理・経営														
期 日	通年														
場 所	小城市芦刈保健福祉センター「ひまわり」 小城市芦刈町三王崎1522番地														
総利用人員	45,676人	担当	地域福祉企画課、芦刈支所												
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 暮らしやすい生活環境の整備と既存施設の有効活用														
実施内容	<p>1. 目的</p> <p>社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。</p> <p>また、各福祉団体やボランティアグループ及び子育て支援事業の拠点として利用されている「ひまわり」を社協が管理することによって、より以上に地域住民や各種団体と連携・協働が可能となり、小城市地域福祉活動計画に基づく「だれもが心の豊かさや幸せを実感できる健康・福祉のまち 小城」を推進する。</p> <p>2. 管理内容</p> <p>通常勤務の管理人1人とその他に土・日曜日及び「国民の祝日」に対応した日々雇用の職員4人を配置して管理している。その他に管理業務や運営業務は、社協職員が兼務している。</p> <p>3. 利用実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 40%;">利用者数</th> <th style="width: 40%;">利用料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>45,676人</td> <td>151,430円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>13,442人</td> <td>208,210円</td> </tr> <tr> <td>前年対比</td> <td>32,234人の増</td> <td>56,780円の減</td> </tr> </tbody> </table>				利用者数	利用料金	令和3年度	45,676人	151,430円	令和2年度	13,442人	208,210円	前年対比	32,234人の増	56,780円の減
	利用者数	利用料金													
令和3年度	45,676人	151,430円													
令和2年度	13,442人	208,210円													
前年対比	32,234人の増	56,780円の減													
特記事項 (課題等)	<p>①利用状況について</p> <p>新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場となったため、年間を通して研修室や集団指導室等の使用ができなかった。</p> <p>②災害時自主避難所の対応について</p> <p>令和3年度は8月の大雨や9月の台風接近により2回自主避難所を開設した。</p>														

令和3年度 事業報告

事業名	高齢者生きがいづくり講座事業																																																										
期 日	通年	参加人数	381人																																																								
場 所	小城保健福祉センター「桜楽館」(4講座) 小城市役所別館(1講座)																																																										
担当者	地域福祉推進係 井上																																																										
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 地域での交流の機会・場の拡充と世代間交流の促進																																																										
実施内容	<p>1. 目的 高齢者の生きがいと社会参加を促進するために、高齢者の趣味活動の普及および創作活動の振興などにつながる講座を開催する。</p> <p>2. 内容 ボランティアで行っていただいている講師の指導のもと、毎月1～3回の講座を開催して趣味活動や創作活動を行い、交流を深めながら外出の機会を増やす。</p> <p>3. 対象者 概ね65歳以上の小城市内在住者</p> <p>4. 参加費 無料(材料費などの実費は本人負担)</p>																																																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 30%;">講座名</th> <th style="width: 15%;">受講者数</th> <th style="width: 15%;">回数(延)</th> <th style="width: 30%;">人数(延)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">小城</td> <td style="text-align: center;">短歌</td> <td style="text-align: center;">6人</td> <td style="text-align: center;">12回</td> <td style="text-align: center;">62人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">水墨画</td> <td style="text-align: center;">13人</td> <td style="text-align: center;">15回</td> <td style="text-align: center;">127人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">生け花</td> <td style="text-align: center;">12人</td> <td style="text-align: center;">7回</td> <td style="text-align: center;">52人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">写真教室</td> <td style="text-align: center;">7人</td> <td style="text-align: center;">5回</td> <td style="text-align: center;">19人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">健康マージャン教室</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">三日月</td> <td style="text-align: center;">園芸教室</td> <td style="text-align: center;">20人</td> <td style="text-align: center;">8回</td> <td style="text-align: center;">121人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">健康マージャン教室</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">牛津</td> <td style="text-align: center;">健康マージャン教室</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">芦刈</td> <td style="text-align: center;">健康マージャン教室</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">58人</td> <td style="text-align: center;">47回</td> <td style="text-align: center;">381人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">令和2年度</td> <td style="text-align: center;">63人</td> <td style="text-align: center;">70回</td> <td style="text-align: center;">624人</td> </tr> </tbody> </table>					講座名	受講者数	回数(延)	人数(延)	小城	短歌	6人	12回	62人	水墨画	13人	15回	127人	生け花	12人	7回	52人	写真教室	7人	5回	19人	健康マージャン教室	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止			三日月	園芸教室	20人	8回	121人	健康マージャン教室	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止			牛津	健康マージャン教室	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止			芦刈	健康マージャン教室	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止			合計		58人	47回	381人	令和2年度		63人	70回	624人
		講座名	受講者数	回数(延)	人数(延)																																																						
	小城	短歌	6人	12回	62人																																																						
		水墨画	13人	15回	127人																																																						
		生け花	12人	7回	52人																																																						
		写真教室	7人	5回	19人																																																						
		健康マージャン教室	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止																																																								
	三日月	園芸教室	20人	8回	121人																																																						
		健康マージャン教室	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止																																																								
牛津	健康マージャン教室	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止																																																									
芦刈	健康マージャン教室	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止																																																									
合計		58人	47回	381人																																																							
令和2年度		63人	70回	624人																																																							
<p>・令和3年度は、桜楽館が新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場となったため、例年ほどの開催ができなかった。また、感染状況により、講師と相談して開催を中止した月もあった。</p> <p>そのため、昨年度と比べ参加者数、開催回数が大きく減少した。</p> <p>・令和4年度からは健康マージャン教室を再開させ、高齢者の閉じこもり防止を進めていきたい。</p>																																																											
特記事項 (課題等)																																																											

令和3年度 事業報告

事業名	小城・多久障害者相談支援事業																																		
期 日	通年	担当者	小城・多久障害者相談支援センター 郊野木、(R3年4月1日～10月31日) 土岐、佐々木、大垣内、古賀、陣内																																
地域福祉活動計画	基本目標:安心して暮らせる地域づくり 方向性 :相談支援体制の充実と人材の確保 基本施策:生活困窮者、ひとり親家庭、障がい者等への相談支援と権利擁護の推進																																		
地域福祉活動計画実施内容	<p>1. 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①障害者相談支援センター事業 ②障害者虐待防止センター事業 <p>2. 事業内容</p> <p>障がいがある方やその家族等の地域における生活を支援するため、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用、介護相談、権利擁護のために必要な援助、専門機関等の情報提供等を行う。夜間を含めて緊急に対応が必要となる場合における相談支援、関係機関との連絡・調整を行うと共に、障がい者虐待に関する通報届出の窓口や、指定特定相談支援・障害児相談支援として福祉サービスの利用計画の作成等の支援を行う。</p> <p>3. 活動状況</p> <p>(1)総合相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談受付件数 延べ4,166件(小城3,042件 多久1,093件 他31件) 【令和2年度 4,539件(小城3,218件 多久1,298件 他23件)】 <div style="text-align: center;"> <p>障がい別相談受付件数</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption>障がい別相談受付件数 (令和3年度)</caption> <thead> <tr> <th>障がい種別</th> <th>小城</th> <th>多久</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体</td> <td>495</td> <td>200</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>重症心身</td> <td>87</td> <td>36</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>知的</td> <td>973</td> <td>434</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>精神</td> <td>970</td> <td>348</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>発達</td> <td>416</td> <td>56</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>高次脳機能</td> <td>89</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>対象障がい別の相談受付で、知的障がいの方の相談が一番多く、計1,424件、次に多いのが精神障がいの方の相談で計1,319件。前年度と比較し、増加が見られたのが身体障がいの方の相談で147件増加、知的障がいの方の相談は61件増加がみられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待相談対応件数 4件【令和2年度 2件】 ・障害支援区分認定調査 70件(小城48件 多久22件)【令和2年度 87件】 			障がい種別	小城	多久	その他	身体	495	200	0	重症心身	87	36	0	知的	973	434	17	精神	970	348	1	発達	416	56	7	高次脳機能	89	8	0	その他	12	11	6
障がい種別	小城	多久	その他																																
身体	495	200	0																																
重症心身	87	36	0																																
知的	973	434	17																																
精神	970	348	1																																
発達	416	56	7																																
高次脳機能	89	8	0																																
その他	12	11	6																																

	<p>(2) 地域生活支援拠点事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点コーディネーター業務として常時の連絡体制の確保 ・短期入所事前登録調査票の作成や保管(小城市19件・多久市2件) <p>(3) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス等利用計画作成 216件(小城155件 多久61件)【令和R2年度201件】 ・モニタリング 447件(小城326件 多久121件)【令和2年度458件】 <p>(4) 研修会等への参加・講師派遣など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県相談支援事業連絡協議会 (コロナ禍で年4回開催予定に対し3回開催) ・知的障害支援者専門研修 ・発達障害支援サポーター養成研修 ・九州地区障がい者相談支援事業合同研修 ・佐賀県相談支援従事者初任者研修 ・佐賀県相談支援従事者現任研修 ・主任相談支援専門員養成(九州ブロック)研修 ・ファシリテーション研修 ・佐賀県相談支援従事者初任者研修 (演習講師) ・小城多久地区精神障がい者家族会勉強会(講師) <p>《総合支援協議会》</p> <p>「精神障害のある人の暮らしを支えるために」</p>
特記事項	<p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、非訪問・非対面・非接触を希望される通所事業所やグループホーム、入所支援施設もあったことから、電話によるモニタリングの実施が多かった。また、空気清浄機・パーテーション・アルコール噴霧器・非接触式検知器等の環境整備を行う等感染防止対策に配慮し、感染予防・対策に留意して障がい者や障がい児等の相談支援を継続して行った。小城・多久自立支援協議会についてはコロナ禍において対面での参加人数を縮小しオンラインを併用した開催を行うことができた。令和4年度も感染状況を見据えながらオンライン等を活用した協議会について小城市・多久市と共に検討していく。</p>

令和3年度 事業報告

事業名	生活困窮者自立相談支援事業 (生活自立支援センター)	担当者	小城市生活自立支援センター 陣内・永淵・中島																																				
期 日	通年																																						
設置場所	小城保健福祉センター「桜楽館」内																																						
担当地区	小城市内全域																																						
事業内容	<p>平成29年度から小城市より受託し、経済的困窮や社会的孤立をしている者の相談に応じて必要な情報提供及び助言を行うとともに、継続的な支援が必要な対象者に対しては自立支援計画を作成し、生活困窮者の自立の促進を図るための支援を行う。(自立相談支援事業)。</p> <p>また、離職・廃業から2年以内または休業等により収入が減少し、離職等と同程度の状況にあり、住居を喪失した者(またはおそれのある者)に対し、家賃相当分の給付金を支給することにより、これらの者の住居および就労機会の確保に向けた支援を行う(住居確保給付金)。</p> <p>【新規相談件数】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">小城</td> <td style="text-align: center;">三日月</td> <td style="text-align: center;">牛津</td> <td style="text-align: center;">芦刈</td> <td style="text-align: center;">その他</td> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">令和2年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">32件</td> <td style="text-align: center;">26件</td> <td style="text-align: center;">29件</td> <td style="text-align: center;">11件</td> <td style="text-align: center;">0件</td> <td style="text-align: center;">98件</td> <td style="text-align: center;">107件</td> </tr> </table> <p>【相談受付件数(延べ件数)】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">小城</td> <td style="text-align: center;">三日月</td> <td style="text-align: center;">牛津</td> <td style="text-align: center;">芦刈</td> <td style="text-align: center;">その他</td> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">令和2年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">218件</td> <td style="text-align: center;">163件</td> <td style="text-align: center;">183件</td> <td style="text-align: center;">35件</td> <td style="text-align: center;">61件</td> <td style="text-align: center;">660件</td> <td style="text-align: center;">708件</td> </tr> </table> <p>【住居確保給付金についての相談】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">相談延べ件数</td> <td style="text-align: center;">95件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">申請件数</td> <td style="text-align: center;">5件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">給付決定</td> <td style="text-align: center;">4件</td> </tr> </table>					小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計	令和2年度	32件	26件	29件	11件	0件	98件	107件	小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計	令和2年度	218件	163件	183件	35件	61件	660件	708件	相談延べ件数	95件	申請件数	5件	給付決定	4件
小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計	令和2年度																																	
32件	26件	29件	11件	0件	98件	107件																																	
小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計	令和2年度																																	
218件	163件	183件	35件	61件	660件	708件																																	
相談延べ件数	95件																																						
申請件数	5件																																						
給付決定	4件																																						
特記事項 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響で給与の減収や離職をして生活に困窮したことによる相談が依然として多い状況が続いている。特例貸付と自立相談支援機関の相談窓口を一本化していることで、支援が必要な人たちを就労支援や食糧支援、関係機関へ早急につなげることが出来た。 ・令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の影響は世代・属性を超えて非常に広範囲に及んでおり、休業やシフト減・雇止め等による経済的困窮に加え、緊急事態宣言等に伴う外出自粛により人とのつながりが変化し、社会的に孤立を深める人、DV・虐待など家庭に問題を抱える人が顕在化した。そうした人たちの支援体制を強化するとともに、一人ひとりの状況に合わせた就労や社会参加の場を開拓していく必要がある。 																																						

佐賀中部広域連合 受託事業

(P 4 3 ~ P 4 5)

令和3年度 事業報告

事業名	南部地域包括 支援センター事業 (おたっしや本舗小城南)	担当者	地域生活支援課 野中・外野木・鳥羽・井上・前田・ 北村(昌)・佐藤・中村・末岡												
期 日	通 年														
設置場所	芦刈保健福祉センター「ひまわり」内														
担当地区	小城市南部地区 (牛津町 ・ 芦刈町)														
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 地域における見守り・支えあい体制と外出支援の充実														
事業内容	<p>I 包括的支援事業</p> <p>1. 総合相談業務</p> <p style="padding-left: 20px;">目 的</p> <p style="padding-left: 40px;">地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続して いけるように、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービ ス、関係機関および制度の利用につなげる等の支援を行う。</p> <p>(1) 相談支援業務</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">相 談 内 容</th> <th style="width: 20%;">令和3年度</th> <th style="width: 20%;">令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険その他の保健福祉サービスに関すること</td> <td>533件</td> <td>407件</td> </tr> <tr> <td>権利擁護に関すること(高齢者虐待等含む)</td> <td>3件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>536件</td> <td>409件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・広報: 地域包括支援センターの活動や連絡先について周知を図るため、小城 市報掲載毎月1回、社協だより“絆”掲載年6回実施</p> <p>(2) 高齢者見守りキーホルダー事業</p> <p style="padding-left: 20px;">内 容</p> <p style="padding-left: 40px;">小城南部地区在住(牛津町・芦刈町)の高齢者を対象にカナミックシステム で個人情報管理し、急変時や認知症による徘徊時に関係機関(市役所・警 察・消防・広域連合)と迅速な情報共有。</p> <p>・広報: 高齢者見守りキーホルダー事業について団体などに対し出前講座等に実施 令和3年度 登録者数 計151人 内新規登録者 30人 (令和2年度 登録者数 計121人 内新規登録者 7人)</p> <p>2. 権利擁護業務</p> <p style="padding-left: 20px;">目 的</p> <p style="padding-left: 40px;">権利侵害を受けている、または受ける可能性が高いと考えられる高齢者が 尊厳のある生活を行うことができるよう、権利侵害の予防や対応を専門的に 行う。</p> <p>3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</p>			相 談 内 容	令和3年度	令和2年度	介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	533件	407件	権利擁護に関すること(高齢者虐待等含む)	3件	2件	計	536件	409件
相 談 内 容	令和3年度	令和2年度													
介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	533件	407件													
権利擁護に関すること(高齢者虐待等含む)	3件	2件													
計	536件	409件													

事業内容	<p>目的 地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントを介護支援専門員が実践するための地域の基盤を整えるとともに、個々の介護支援専門員へのサポートを行う。</p> <p>(1) おたっしや本舗小城南地域ケア会議の開催</p> <p>目的 高齢者個人に対する支援の充実とそれを支える社会基盤の整備が同時に図られるため、地域の特性を踏まえた地域包括ケアシステムの実現。 《小城市南部サービスネットワーク部会:通称 ハピネット部会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回 《小城市介護予防のための地域ケア個別会議:通称 生き生きプラン》 ・年間6回開催(内2回書面開催) 参加者延べ人数84人(書面開催は含まず) <p>(2) 小城市在宅医療・介護連携推進協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小城市在宅医療・介護連携推進協議会の啓発・広報部会、研修部会、情報システム部会の委員として参加 ・市民公開講座実施協力、企画、広報、スタッフとして参加 <p>(3) 民生委員・児童委員連絡協議会定例会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛津町定例会と芦刈町定例会へ毎月参加し、情報共有や相談支援 <p>4. 介護予防ケアマネジメント業務</p> <p>目的 基本チェックリスト該当者(事業対象者)、要支援1, 2に対して、介護予防および日常生活支援を目的として、その心身の状況等に応じて、対象者自らの選択に基づき、訪問型サービス、通所型サービス、その他の生活支援サービス等適切な事業を包括的・効率的に行う。</p> <p>5. 生活支援コーディネーター業務</p> <p>目的 市町村が定める活動区域ごとに、関係者のネットワークや既存の取り組み・組織等活用しながら、コーディネート業務を実施することより、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みを推進。</p> <p>(1) 協議体での活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1層協議体 年4回開催(内1回書面開催) ・第2層協議体 年各3回開催、4町合同1回開催 <p>(2) 地域づくりの啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民講座 年1回 <p>(3) 地域資源の把握、ニーズ確認</p>
------	--

・毎月4町合同打合せ及び検討会

6. 認知症地域支援業務

目的

認知症の人とその家族の支援体制の構築および認知症ケアの向上を図る
取組み推進。

- (1) 医療、介護サービス、地域との有機的な連携の推進
(認知症ケアパス作成打ち合わせ 年1回)
- (2) 認知症ケアパス完成
- (3) 認知症本人、家族の居場所づくりの推進
(カフェ、サロンの啓発 随時 地域型認知症サロン 2ヶ所所開催)
- (4) 認知症やその家族の相談や支援
- (5) 認知症初期集中支援チーム検討会

II 指定介護予防支援事業

指定介護予防支援実績

	R3年度	R2年度
介護予防給付件数（事業委託分を含む）	2,555件	2,709件
要介護認定調査委託	12件	88件
住宅改修支援	8件	11件

事業内容

介護保険事業

(P 4 6)

令和3年度 事業報告

事業名	居宅介護支援事業		
所在地	小城市芦刈町三王崎1522番地（芦刈保健福祉センター ひまわり）		
対象者	介護保険 要介護認定者		
事業の種類	居宅介護支援	担当者	地域生活支援課 牧瀬、卯野木、平野
営業時間	月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時15分 但し、国民の祝日及び12月29日から1月3日までを除く		
運営方針	利用者・家族の意向を尊重し、中立公正な自立支援		
職員体制	介護支援専門員 3人《その内管理者1名兼務》		
実施地域	小城市内(原則)		
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 在宅医療・介護の連携と生活支援の充実		
実施内容	<p>1. 方針</p> <p>①常に利用者の立場になり、利用者が住み慣れた環境の中で、自分らしく、尊厳ある生活ができるように、自立への支援に努める。</p> <p>②利用者・家族の意向や心身の状態を考慮し、保険者・地域包括支援センター・医療機関・サービス事業所等とも連携を図り、支援する。</p> <p>2. 内容</p> <p>・相談援助、ケアプラン作成、サービス調整、更新認定調査等</p> <p>3. 利用者</p> <p>・利用者 68人(令和2年度 80人) ・契約者 69人(令和2年度 85人)</p> <p>4. 実績</p> <p>① 居宅介護支援 年間 延931人(令和2年度 延べ977人) <介護度別>介護1 延420人 介護2 延218人 介護3 延158人 介護4 延 67人 介護5 延 68人</p> <p>② 介護認定調査 年間 14件 (令和2年度 15件)</p> <p>5. 介護支援の流れ</p> <p>①介護申請→認定調査→介護認定→居宅介護支援の契約</p> <p>②利用者や家族に意向確認→ケアプラン作成→サービス調整→サービス担当者会議→サービス利用開始→自宅に定期訪問→モニタリング(評価)・来月の利用票配布(利用確認)→介護請求</p> <p>③ 住宅改修の支援、福祉用具の購入支援、更新認定調査、相談援助等</p> <p>6. 介護支援専門員の研修に参加、個別ケア会議への参加 小城市南部サービスネットワーク部会への参加</p>		
特記事項 (課題等)	<p>・利用者や家族の意向を確認し、可能な限り自宅で自立した毎日を過ごせるように総合的な介護サービスを提供していく。そのため、職員の研修やミーティングを充実させ、スキルを向上させていく。</p> <p>・地域の医療機関、民生委員・児童委員、サービス事業者、包括支援センター等と連携を取り、地域住民の方や介護認定の方への支援の共有、検討を実施した。今後も地域の課題に着眼し、地域に根づいた総合的支援を行う。</p> <p>・ハピネット部会や生き生きプランに参加し、サービス事業者、医療機関等と情報交換・共有を行い、支援援助のスキルアップ、多職種職員との交流を深めた。今後も会議や研修等に参加し職員の資質向上に努める。</p>		